

資料提供
広報取材依頼

情報提供日	令和6年2月21日
問い合わせ先	大田市総務部総務課（松田秀規） TEL0854-83-8013

「硫黄島からの手紙～大田市出身の戦没者・遺族の思い～」

1. 行事名	硫黄島からの手紙～大田市出身の戦没者・遺族の思い～ 島根大学法文学部社会文化学科学生によるフィールドワーク成果発表会
2. 目的	手紙を通じて、戦没者と遺族の思いを踏まえ、平和について考えることを目的とする
3. 開催（実施）期間	令和6年3月9日
4. 開催（実施）時間	13:30～15:00
5. 開催（実施）場所	島根県立男女共同参画センター「あすてらす」3階 研修室6
6. 主催	島根大学法文学部地理学研究室 島根大学法文学部山陰研究センター
7. 後援	大田市、大田市教育委員会、大田市遺族会
8. 参加・入場者数	50名
9. 行事の内容	（全体の概要、特徴的なものなど）
別添のとおり	
10. 特記事項	
11. その他	プレスリリース文、周知用チラシ



人とともに 地域とともに

島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

令和6年2月20日

報道機関 各位

硫黄島からの手紙 ～大田市出身の戦没者・遺族の思い～【 3/9 】

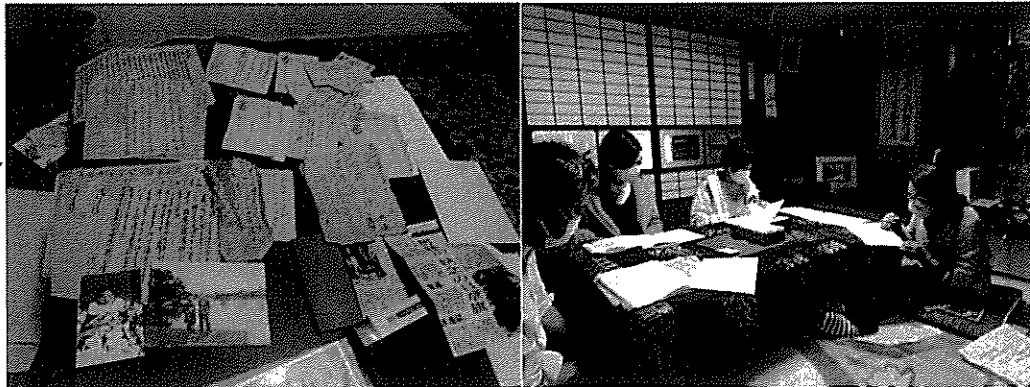
島根大学法文学部社会文化学科学生によるフィールドワーク(地誌学Ⅱ)成果発表会

◆本件のポイント！

- ・大田市内で初めて発見された硫黄島からの手紙を学生が解読。
- ・硫黄島からの手紙は全国的にあまり残っていない。
- ・手紙の筆者が、硫黄島から一度本土に戻ってきており、珍しい。
- ・手紙を通じて、戦没者と遺族の思いを踏まえ、平和について考える。

◆本件の概要

法文学部社会文化学科学生によるフィールドワーク成果発表会を大田市内で初めて開催します。フィールドワークでは大田市内で初めて「硫黄島からの手紙」を発見し、学生が中心となり、解読、研究しました。手紙の分析結果を通じて、激戦硫黄島の戦いでの戦没者と遺族の思いを分析し、平和について考えます。



◆概要内容

- 【日 時】令和6年3月9日(土) 13:30~15:00
【場 所】島根県立男女共同参画センター「あすてらす」3階 研修室6
【定 員】先着50人

◆本件の連絡先

島根大学 法文学部 社会文化学科 地理学研究室
船杉 力修 教授
電 話:0852-32-6181
メール:funasugi@soc.shimane-u.ac.jp

◇その他

これまで学生とともに、松江市浜乃木の善光寺にある、島根県の硫黄島戦没者の供養塔及びその関連資料を分析し、その研究成果を本学及び松江市内の公民館で発表を行い、発表会の様子がテレビのニュース、新聞で大きく報道されました。

【添付資料: あり(1枚) なし】

島根大学法文学部社会文化学科学生による
フィールドワーク（地誌学Ⅱ）
成果発表会

硫黄島からの手紙

～大田市出身の戦没者・遺族の思い～



日時：2024年3月9日（土） 13:30～15:00

場所：島根県立男女共同参画センター
「あすてらす」3階 研修室6
※先着50名

主催：島根大学法文学部地理学研究室、島根大学法文学部山陰研究センター
後援：大田市、大田市教育委員会、大田市遺族会

お問い合わせ先：島根大学法文学部地理学研究室・船杉（ふなすぎ）
電話：0852-32-6181、メール：funasugi@soc.shimane-u.ac.jp